

# 家庭科における言語活動と授業設計

佐賀市立本庄小学校 てづかみよこ

## 1 家庭科における言語活動のねらい

今次の学習指導要領では、言葉が大きな役割をもつことから教科を超えて言語活動が重視されており、言語的思考力の育成が重要な課題となっている。言語活動には、「ツールとしての言語活動」と「学習内容を定着させるうえで不可欠な言語活動」という特性の違いがある。このことを踏まえて授業設計を行うことが重要であり、家庭科では次の点が言語活動の主なねらいと考える。

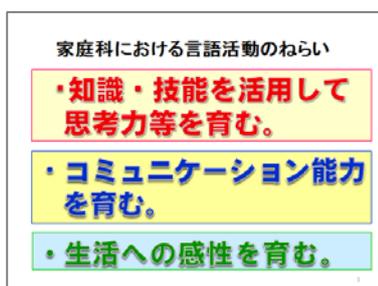


図1 言語活動のねらい

### ① 知的活動の基盤としての言語活動

教科等に共通して言語活動の主たるねらいは、思考力等の育成である。このことについて家庭科では、生活の課題を解決する過程において、生活行為の意味や理由を吟味したり説明したりするなどの言語活動を通して生活の見方を科学的に理解させ、合理的判断力や創造的思考力、問題解決能力などの育成を図ることである。そのためには、体験活動の結果について「なぜそうするのか」を科学的に考え意味付けしたり、「どうすればよいか」といった解決策について意見交換を通して探求したりするなどの活動が求められる。ここで留意すべきことは、言語活動が目的化されてしまうと活動が形式化してしまい、学びが子どもの生活や意識から乖離したものとなることである。

### ② コミュニケーション能力をはぐくむための言語活動

家庭生活では、人や環境との折り合いをいかにつけるかが大切であり、コミュニケーション

能力が求められる。家庭科では、友達や家族、地域や身近な人とのかかわりやふれ合いを重視しており、よりよい生活を営むためには、家族や地域の人とのコミュニケーションが重要となる。言葉を通して、家族や幼児、地域とのふれ合いを図ったり、考えを伝え合ったりする活動を充実させることで、人や環境とのかかわりが深まっていく。また、グローバル化の時代にあって、価値や文化等の多様性を尊重しつつ生活の課題について共通の合意を創り出すことが持続可能な社会の形成につながる。

### ③ 生活の感性をはぐくむための言語活動

小学校第5学年から始まる家庭科では、それまで培ってきた他教科の知識や技能、道徳や特別活動などから育まれた心情を総合化し、生活の中に潜む現象やそれにまつわる状況を実践や体験を通して実感的に理解することが重要となる。その際、生活行為の意味や価値、伝統的な生活文化や生活の知恵、さらには季節感などの生活感覚を高めることを大切にしており、こうした言葉を知ることによって生活者としての感性が育まれる。

## 2 言語活動の充実を目指した授業設計

### ○ 知的活動の基盤としての言語活動の実際

家庭科では、科学的・論理的に生活をみていく力を高めるための言語活動が重要となる。本実践では、食生活を科学的な視点から捉え、家庭生活にかかわることで食生活をよりよくする態度を育むことをねらいとする。

(1) 題材「くふうしよう 楽しい食事」(6年生)

【B(2)アイウ B(3)アイウエオ B(1)ア D(2)ア A(1)ア】(全11時間)

(2) 題材の目標

健康を考えた1食分の献立の立て方が分かり、複数の料理を段取りよく作ることで1食

分の食事を整え、自分の食生活に生かそうとすることができる。

(3) 題材の流れ

【みつめる】 日常の食事を見直し、食生活の課題をつかみ、共通課題を設定する。

【さぐる】 1食分の献立の立て方を理解する。じゃがいもの調理を通して調理に関する基礎的・基本的な知識・技能を身に付ける。

【ふかめる】 既習した知識・技能を生かして1食分の調理計画を立て、それに沿って調理を行い、家庭実践への意欲と自信をもつ。

【いかす】 家庭での実践を紹介し合い、これからの実践の見通しや意欲をもつ。

(4) 言語活動の視点

① 1食分の献立の立て方を考える過程で、「何をどう食べるか」「なぜそうするとよいか」を話し合い、そのことの意味づけを自分の言葉で説明できるようにする。

② じゃがいもの皮むきができるためには、皮のむき方を言語化させ、それに合わせて粘土で試行させた後、実際に皮むきをさせる。その後、ポイントとなる手の位置や包丁の動かし方を、体験を基に再言語化し、実感的に理解させ、技能を獲得させる。

③ 1食分の食事の計画を立てる過程で、「なぜそのやり方がよいのか、他にはどんな方法があるのか」について話し合い、他の方法や自分の考えを捉え直すことで、見方や考え方を広げていく。

子どもたちは、それまでの経験から自分なりの生活観をもっており、学習を通してそのことを再定義していくのが言語活動では重視されなければならない。学習したことに意味づけを行い、学びが自分に関係のあることとして捉えられるようにすることで、子どもは生活に主体的に関わるようになると思える。

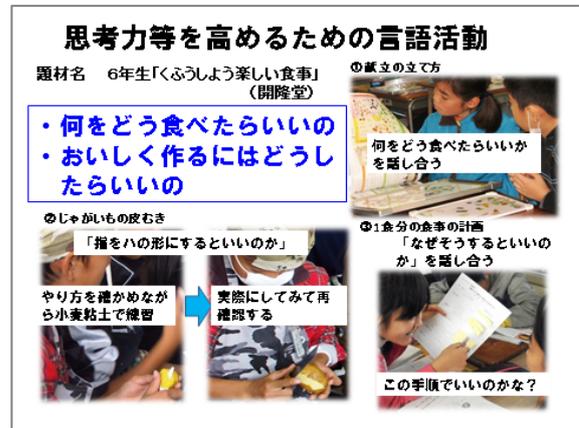


図2 言語活動の視点

○ コミュニケーション能力を育むための言語活動

家庭生活では、家族や地域の人と合意形成を図りながら生活することが求められる。学習においては、課題の解決過程でそれぞれの立場や視点、思いや願いを踏まえながらよりよい解決策について合意形成を図っていくことが大切である。相手の立場や状況を踏まえながら「よりよさ」とはどうすることかを考えるコミュニケーション能力が求められる。

○ 生活の感性をはぐくむための言語活動

図3の言語一覧にあるような言葉が使える子どもを育てたいと願う。生活の感性を育むために、家庭科で使う言葉をこのように掲示しておくことで子どもは使う場面や意味を考えるようになる。また、教師も子どもの言葉の使い方から理解状況を把握することができる。

家庭科で用いる言語一覧 (キーワード)例

<b>家庭生活</b> ・ 団らん ・ ふれ合い ・ 家庭生活を支える ・ お茶のこさ ・ 一服 ・ 急須 ・ 湯を注ぐ ・ 収入 支出 ・ 生活時間 ・ 近隣 ・ つながり ・ 生活環境 ・ 共に生きる ・ 成長 ・ 家族への思い ・ 家族の一員 ・ おたがいさま ・ お隣さん	<b>日常の食事・調理</b> 健康 身支度 栄養素 バランス 消化吸収 火の通り かさ 分量 すり切り みずけ だし うまみ 増加減 もったいない 和食 発酵食品 伝統的な食文化 味	加熱 火加減 沸とう ゆでる 炒める 煮る 炊く むらす 吸水 こすり洗 い ふり洗い ふき 湯水	短冊切り ちょう切り 小口切り せんざり 半月切り めんととる しん 盛りつけ いろどり 色つや 新鮮 旬 地産地消 スローフード	米をとく とぎ汁 主食 汁 主菜 1汁2菜 包丁のみ ねえ さいばし ガスコンロ 1合 1升 グラム CC
<b>意味理解・使い方</b> <b>生活の知恵・工夫・感性</b>				

図3 言語一覧

言語活動を充実させるためには、「何のために、どのような」活動を行うのかを明確にした授業設計が求められる。

# 家庭科で用いる言語一覧【キーワード】例

- ・生活の様子としての言葉
- ・用具・方法などに関する言葉
- ・意味につながる言葉
- ・生活にかかわりのある言葉

私たちの回りには、昔の人たちが生み出した生活の知恵や工夫、家族への思いや願いが込められた言葉がたくさんあります。家庭科では、このような言葉をいろいろな場面で使い、生活を工夫していきます。

<p><b>家庭生活</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団らん</li> <li>・ ふれ合い</li> <li>・ 家庭生活を支える</li> <li>・ お茶のこさ</li> <li>・ お茶を一服する</li> <li>・ 急須（きゅうす）</li> <li>・ 湯を注ぐ</li> <li>・ 収入</li> <li>・ 支出</li> <li>・ 生活時間</li> <li>・ 近隣</li> <li>・ つながり</li> <li>・ 生活環境</li> <li>・ 共に</li> <li>・ 成長</li> <li>・ 家族への思い</li> <li>・ 家族の一員</li> <li>・ おたがいさま</li> <li>・ おかげさまで</li> </ul>  	<p>日常生活 日常の食事・調理</p>	<p><b>健康</b> 身支度 栄養素 バランス 消化吸収 火の通り かさ 分量 すり切り みずけ だし 塩加減 うまみ</p>	<p><b>加熱</b> 火加減 沸とう ゆでる 炒める 煮る 炊く むらす 吸水 こすり洗い ふり洗い ふさ 流水</p>	<p><b>短冊切り</b> いちよう切り 小口切り せんぎり 半月切り めんをとる しん 盛りつけ いろどり 色つや 新鮮・旬 地産地消 スローフード もったいない</p>	<p><b>米をとぐ</b> とぎ汁 主食 汁 主菜 1汁2菜 包丁のみね え 刃 穴じゃくし さいばし ガスコンロ 1合・1升 1丁・1ぱい 食物繊維</p> 
	<p>衣服の手入れ・製作</p>	<p><b>手入れ</b> 着方 布のみみ 布目 布はし もみ洗い つまみ洗い ブラシ洗い</p>	<p><b>ほころび</b> 取り込む はしの始末 布を裁つ しつけ 針をうつ しごく なみうつ ボビン ぬいあわせ かがりぬい 糸をよる</p>	<p><b>一重</b> <b>二重</b> 玉結び 玉どめ ぬいとり なみぬい 返しぬい わ 運針 下糸上糸 試しぬい ボタンの首 ボタン穴</p>	<p><b>目があらい</b> ゆるみ 丈夫 ぬいしろ 口あき 三つ折り 台布 出し入れ口 縫い始め 縫い終わり わき</p> 
	<p>住まい方</p>	<p><b>快適</b> 分別 処理</p>	<p><b>リサイクル</b> リデュース リユース リフォーム</p>	<p><b>はたく</b> <b>はく</b> <b>すいとる</b> <b>ふく</b></p>	<p><b>採光</b> <b>照明</b> <b>風通し</b> <b>通風</b> <b>換気</b></p>
	<p>環境・消費</p>	<p><b>表示</b> 賞味期限 消費期限 品質表示</p>	<p><b>マーク</b> <b>カード</b></p>	<p><b>クリーンエネルギー</b> <b>緑のカーテン</b></p>	<p>環境を考えた暮らし 持続可能な社会</p>